



自分たちが作った「くれないモチ」、丸めて「あんころもち」に美味しい、と歓声。

球磨川（熊本豪雨）ボランティア

熊本支部長

大島健二郎

ぺったんこ、ぺったんこ

球磨川流域で熊本豪雨が2020年7月4日発生のニュースが朝入って来ました。同日に芦北町役場に到着。救援活動開始。熊本県内の犠牲者は65名。がれき撤去、ドロ出し、畳替え、炊き出しを人吉金光教会で実施。相良村で「田・山・湾の復活」の活動を2020年秋から開始。園児たちとトロトロ層づくり、田植え、稲刈り、天日干し、脱穀などを通じて、「復幸米」づくり。3年間収穫に従事し、2024年1月30日、餅つき大会をなつめ保育園で行いました。緒方眞喜代園長（73歳）は11月3日に瑞宝単光章を受賞されていました。園児たちは田んぼで無農薬、有機で自分たちが



相良村川辺の大塚初子さん（73歳）

作っただけに餅つきのきねを持ち上げるのにも力が入っていました。「よいしょ、ぺったんこ」と。神戸から毎月来ている4人に遊戯と感謝のメッセージが与えられ、目頭が熱くなりました。午後は、園児たちによるお餅を独居の高齢者のところへ届けました。年長組の園児たちが田んぼで取り組んだお餅を先生方、親御さんたちが独居の高齢者に届けると喜んでおられた。園児たちのトロトロ層づくり、田植え、稲刈り、天日干し、脱穀などをいつも応援しておられた丸目寧（67歳）氏は12月20日に亡くなりました。神戸国際支縁機構の農具などを保管してくださっていました。ご冥福をお祈りします。



『眞平家物語』五家荘の先祖（第十回）

熊本県球磨郡相良村教育長 緒方 俊一郎

第8代は盛秀
「盛秀・彦五郎ト称ス 後準人ト改ム文治百五十年群猪人ヲ害ス盛秀射テ之ヲ殺ス是ヨリ敢テ人家ニ迫ラス 同百五十九年十二月二十一日歿ス」
現在も鳥獣による農作物への被害が大であり、その駆除が大きな問題となっているが、既にその頃も家の近くに出没する猪をはじめ害獣退治が問題となっていた。焼き畑農業で収穫した粟や稗を主食としていた五家荘の住民にとって、猪など野生動物の被害が深刻なものであった。盛秀は害獣を弓矢で射殺したという。（鉄砲伝来は1543年であり、盛秀が亡くなったのは1344年の事であるので当然鉄砲は伝えられていないので、弓矢や罠で獲っていた。）
筆者が五家荘に入ったのは昭和の終わりに近くなっていることであつたが、根っこは赤い平家大根（平氏の旗を象徴する赤）など古くから伝えられ守ってきた主食の粟・稗や野菜類が、山の斜面を利用した畑や焼畑に大事に育てていたが、作物類が鳥獣によって被害を受けていた。貴重な食料を害されるためにその対策も苦心していた事が窺われる。
第9代を盛廉である。
「伊勢丸ト称ス後内蔵介ト改ム 近年冬日暖夏日寒ク四季順ヲ失ヒ群猪又人ヲ害ス文治百七十五年焼テ山ヲ裸ニス 同百八十二年八月三日歿ス」
盛廉の時代に記述では、気候不順で冬暖かく、夏寒いために山に食べ物が少なくなつてたかさんの猪が出てきて人に被害をもたらした。そこで盛廉等は1360年に身近な山林を焼き払い、山を裸にして猪の害を防ぐという荒療治をやっている。盛廉は1367年に死去したという。
第10代は盛秋である。彼の時代にも気候不順で食糧難が続いており、住民らは食料調達に苦労している。多くの餓死者も出る状態であったのは五家荘ばかりではなく、隣の宮崎県に落ち延びていた那須の一統も同様に食料調達に苦労していた。
1383年一黍稗實ヲス餓死スル者多シ」と記されている。この頃、異常気象のために毎年凶作が続いており、元々平家の末裔である那須の領主が領地を奪おうとして険阻な山を越えて椎原に押し寄せて、民家を焼き払い家財を略奪した。椎原の一族郎党等ははたが、椎葉勢に負けて仁多尾の左座氏を頼って逃れたのであった。攻め寄せた那須の一統は険阻な山中の行軍に疲れて食料もなくなったために、柿を採って食べたという。現在、那須柿という地名があるが、そこがその地点である。と伝えられている。
盛秋は文治20年（1390年）死去した。
このようにこの時代には気候不順が続き、食料調達に特に苦労していた事がわかる。
後醍醐天皇が京都より吉野へ入った1336年から、後龜山天皇が京都へ帰る92年までは南北朝時代であるが、その時代に生きていたのが盛兼、盛秋であり、山深い五家荘も戦乱の影響が及んできたようである。阿蘇氏からの誘いがあつたことを次回に述べる。

31年ぶり、
ゼロから翻訳した新しい聖書

『聖書 聖書協会共同訳』
—2018年12月発行—

全国書店にて
好評発売中です
www.bible.or.jp
日本聖書協会



湯川胃腸病院

胃腸科・小児科・泌尿科・皮膚科・産婦人科・眼科・耳鼻科・歯科・整形外科・放射線科・検査科・薬剤科・理学療法科・作業療法科・言語聴覚科・看護科・医療事務科・医療情報科・医療機器科・医療材料科・医療器具科・医療設備科・医療環境科・医療安全科・医療感染対策科・医療廃棄物処理科・医療廃棄物処理施設

〒543-0033 大阪市天王寺区堂ヶ芝2丁目10番2号
TEL:06-6771-4861 FAX:06-6771-4882

人によし、社会によし、未来によし。

ミヨシ油脂株式会社

〒124-8510 東京都葛飾区堀切4-66-1
<http://www.miyoshi-yushi.co.jp>

KINSAN 夢に近づく 夢を産み出す...

近畿産業信用組合

総合コールセンター
0120-111-019



『石巻かほく』(2023年12月22日付)



『石巻日日新聞』(2023年12月20日付)



『東北テレビ』(TBC 2023年12月21日10:30)

神戸国際支縁機構の産みの親 三木晴雄氏逝く

2023年12月8日

代表 村上裕隆

3・11、古今未曾有の大津波、大地震マグニチュード9・0に襲われた。神戸の学生たちが現地入りすることを耳にした玉の肌石嶮株式会社の東京本社長の会長三木晴雄氏は、首尾良く活動できるように惜しみない支援を申し出てくださった。私がはじめてボランティアに参加した時だった。あれから12年、海外に孤児の家を造るようにもなった。それもゼロのスタート時点で三木氏の最初の応援があった。いざ後方の本丸の城主のような存在であった。私たちはその斥候として薪運ぶ僕、水汲む僕として、最前線にギリギリとして遣わされていたのではないだろうか。

12月11日、息を引き取られる直前に、石巻市の障がい者、独居の高齢者、在日外国人のためにクリスマスケーキを例年のように70ホールを山崎製パンにご自身が発注されていた。最後まで弱者、苦しみ、くやしさに抑圧されている人々に人道支援をする精神を失われなかった。壮絶な責任感である。三回にわたる癌治療から蘇生して弱っておられた。12月8日に「また会いましょう」と、岩村義雄代表に言われた言葉が印象に残っている。とはいえやせ細った体躯には真の隣人愛が宿っていた。

現地、石巻市では、齋藤正美市長はじめ、祥心会、石巻市義光理事長、メディア関係者も三木晴雄相談役の惜しみない支援に感銘を受けた。石巻市は感謝状、地元紙も報じた。私たちは大きな後ろ盾を失ったが、感謝を形に表していきたい。



祥心会



TAMANOHADA

代表取締役 三木 晴雄

〒130-0021 東京都墨田区緑 3-8-12
tel 03 3634 1345 fax 03 3635 4124
URL: www.tamanohada.co.jp



「ヒューマンティファースト」
日本アハマディア・ムスリム協会

弁護士法人
芦屋西宮市民法律事務所



津久井 進

日弁連災害復興支援委員会委員長
兵庫県弁護士会前会長

TEL: 0798-68-3161

ミヨシ共栄株式会社

東京都墨田区緑3丁目8番12号

事務局便り

理事長 本田寿久

パレスチナの78年の呻きが聞こえないか

2023年10月7日に始まったイスラエル・ハマス間の戦争。最初の1か月だけで、ガザで殺された子どもの数は、2年間の戦争全体を通じてウクライナで殺された子どもの総数の6倍でした。イスラエルの容赦ない軍事攻撃により、ガザ地区ではわずか3ヵ月あまりの間に2万6637人が死亡。そのほとんどが女性と子供だった。

イスラエル軍は「決してパレスチナの墓地そのものを標的にはしていない。墓地を傷つけたり冒涇したりする方針はない」と言いながら、ガザの2000以上の墓地は完膚無きまでに狙われ、破壊し尽くされている。



"Aljazeera" (2024年1月30日付)

パレスチナ人に対するイスラエルの非人道的で人種差別的発言が急増している。恐ろしい兆候を示している。加えて、イスラエルはガザを違法に封鎖した。民間人が水や食料、医療を手に入れないようにしている。ガザ地区の人びとに底知れぬ苦しみを与え、人びとを生存の危機にさらしている。

米国が拒否権を行使して国連安全保障理事会が停戦を求めることを阻止している。戦争犯罪や人道に対する罪がばびこっている。ジェノサイドの危険性は現実存在する。シオニストを擁護するアメリカのキリスト教福音派は世界中の広範な反対にもかかわらず、イスラエルを断固として支持している。ガザへの人道支援に拒否権を発動し、停

戦に同意しようとしめない。イスラエルに数十億ドルの軍事援助を提供し続けている。

ロシア・ウクライナ戦争にしても、イスラエル・ハマス戦争も宗教がからんでい。どんな宗教も「汝、殺すなかれ」※である。「すべて剣をとる者は剣にて亡ぶるなり」(マタイ傳 26:52)。

※「ロー ティルツァクフ」(岩村義雄 ヘブライ語くらツァ ratsach のパル未完了形) (出エジプト 20:13)

○パレスチナ問題に神戸国際支縁機構は発足当時から取り組んできま

した。
○2023年12月17日、東 静香さん(神戸国際支縁機構事務局)が企画したドキュメンタリーを事務局の6名で拝見。(岩村義雄、東 静香、佐々木美和、村上裕隆、野田健二、本田寿久)。

○2024年1月22日、「阪神宗教者の会」(世話人代表 岩村義雄)で元イスラエル兵士ダニー・ネフセタイ(平和活動家)の「報復はなぜだめか」をZOOM オンライン。



2018年9月4日



パレスチナ映画「ぼくたちは見たガザ・サムニ家の子どもたち」

趣旨に賛同してくださる方は、何口でも結構ですので、ご協力をお願いします。

本会員は、一口2,400円/1年 賛助会員は、一口5,000円/1年

・郵便振替

口座 00900-8-58077

加入者名 一般社団法人 神戸国際支縁機構

・三菱UFJ銀行

462(三宮支店) 普通 3169863

神戸国際支縁機構 岩村義雄

海外の災害緊急募金には書ける方は『国名』を書き添えてください。

(一社) 神戸国際支縁機構

ボランティアや移住者募集中

農林漁、および在宅被災者戸別訪問にご協力ください。医療関係者歓迎します。

被災地への支縁物資もお願いします。

年会費をお願いします。(月に200円)

会員(年度4月～翌3月)の皆さまには、季刊誌などをお送りします。

海外の孤児のために支縁金をお願いします。

「小さくされた人々のための福音」講座
毎月第3金曜日
午前10時～
神戸学生青年センター
本館1階

岩村義雄セミナー
毎月第4月曜日
午後6時半～
ミント神戸17階

編集後記

今回、人生で初めての「被災地ボランティア活動」に参加させていただきました。自分の目で津波、地震の惨状を直接見て、改めて「自然災害の恐ろしさ」を実感しました。

阪神・淡路大震災時は2歳で記憶ありません。全国から多くのボランティアの方々が駆けつけて下さり、助けてくださったと聞いて育ちました。今回自分も、微力ながら「恩返し」として被災地に神戸国際支縁機構のみなさんと行ったことは今後の人生においても大きな収穫でした。とりわけ他者のために仕えること、国籍、膚の色、民族の枠を越えてできる体験をさせていただきました。

危機の時だけでなく、平和のために手を取り合っている時代を先取りした能登半島地震ボランティアだったこと、終生忘れません、テダニ カムサハミダ。 事務局 周 悠植(チュ・ユシツ)



左から
M. シャクルトン、周 悠植、
許 匠(ホ・ジャン 25歳)

救援金、維持会費のご協力感谢您。(敬称略)

2023年10月20日～2024年1月13日

本田寿久(6)、佐々木美和、岩村義雄、大島健二郎(5)、大西 孝、宝塚栄光教会(2)、岩間 洋&千恵子(2)、村田優美子、辻本久夫、神戸新聞文化センター、FEW in Osaka、松田エツ子、北村 史、趙 聖未、星野尚子(3)、チャペル・こひつじ、Renecca Arthur、有田貞一&美榮子(3)、福田雄二(熊本県相良)(2)、松岡 認、廣森勝久&孝子、泉 晴代、日本基督教団神戸栄光教会、入江ひろ子、米澤澄子、中山圭子、明石バプテスト教会(2)、保田 薫(2)、濱名浩子、前川和弥&幸子(4)、沖浦宏隆(千葉県布良)(3)、福地弥寿子、堀内 稔、山田みち子、阿部和夫&斉子(宮城県石巻市)(3)、垂水朝栲会、河内常男(2)、木村ふみ子(石巻市)、姫田光義、高木 保、松岡 齊、本田大輔、久保田弘人(熊本県人吉市釜田醸造所)、保田 茂、佐々木美代子、高 祐二、久原満里子、西上千栄子、佐々木駿介、西堀元&容子、朴 淳用(神戸学生青年センター)、石井泰代(2)、浪本勝年、野崎和子、李 敬司、中村清雅、飛田雄一、新地和恵、水谷弥生、袴田康裕、徐 根植、平松幸子、土手ゆき子、土手 朋、竹内喜子、佐々木基文(西光院住職)、村田義人、野田健二(3)、苅部眞砂子、嶋田博信&礼子(千葉県布良)(2)、大谷洋子、宮武省子、本田清美、塩川成子(千葉県館山)、守屋香代子、小久保玲子、池口美喜子、小谷登志江(千葉県布良)、柿本雅司、豊島睦子、池永タケコ、原 浩司、岩本眞子(福岡県松本)、丹野恵子(宮城県石巻市)、廣瀬素子、福寿恵美(2)、山田通裕、糸島聖書集会(2)、(株)ハミングジョー(赤星)、椿本博久、小島千鶴、千葉幸一(宮城県石巻市)(3)、藤田祥子、阿部艶子、藤野知香、岩本久吉&眞子(福岡県松本)、岡部和香、瀬戸友子、渡邊 徹、東灘バプテスト教会、大槻紀夫(2)、佐々木修&貴子、谷 雅博、鷹取教会有志、愛編クラブ(阪上順子、渋谷智恵美、中井和代、後藤由紀子)、緒方眞喜代(熊本県相良)、財団法人神戸新聞厚生事業団(2)、主イエス恵愛教会、高橋 務、永野由美子、飯塚弓子、古川直子、梅木博光(金光教多良木教会)、白方誠彌、在日大韓基督教会神戸教会、熊野千秋、大鶴 勝、鄭 恵姫、藤原りつ子、庄司慈明(宮城県石巻市)、鈴木敏夫、東原良学、長沼ひとみ、AIC-Japan、梶山洋枝、大祐祐弥、牧野健吾、松岡泰夫、KISO 牧場、恐ヶ丘キリスト教会、中山喜世子、日向そよ、穴戸義光(宮城県石巻市)、橋本成年、日野謙一、中原朱音、今村佳代子(佐賀県大町町)、安房文化遺産フォーラム、釧路キリスト福音館(2)、白瀬悦子、第38回日韓交流信徒大会(2)、神戸聖福教会、李敬淑、合同会社 Bless 泉 眞姫、リョウマサキ、ホームチャペルキリストの花嫁、イエス・キリスト聖成伝道教会、山本 稔、匿名、 677,075円

フードバンク関西、神戸市社会福祉協議会、生活協同組合コープこうべ、山本 勝からかばちゃ(2)、前川和弥&幸子から韓国おみやげなど(2)、養毛良介&かず子(熊本県相良)から柚子など(2)、なつめ保育園(熊本県相良)から菓子、佐藤金一郎&晴美(宮城県渡波)から柿など。丹野典彦(宮城県石巻市)から海苔(2)、丹野恵子(宮城県石巻市)から海苔、本田巧&敏子(宮城県石巻市)から海苔(2)、本田寿久から靴、梶原ミドリ(福岡県松本)コーヒーなど、岩本眞子(福岡県松本)から柿、松本地域コミュニティ協議会からコーヒー、中村優子(佐賀県武雄)からお茶など、緒方裕之&眞喜代(熊本県相良)からコーヒー、徳留由美から鹿児島名物、(株)チュチュアンナから靴下、三木晴雄(玉の肌石鯨株式会社相談役)から70ホールクリスマスケーキ、木村勝&木村ふみ子(宮城県石巻市)から銀杏、干し柿など(2)、阿部和夫(宮城県石巻市)からビール、大國龍生(伊去波夜和氣神社宮司)から干し柿など、阿部和子(宮城県渡波)からチョコレート、栗原永子からコーヒー、藤野知香からカイロ、西上千栄子から毛糸帽子など、Obonguta Felixからウガンダコーヒー、神戸ベトナム人会からホーなど、M. シャクルトンからチョコレートなど、姜 成哲からキムチなど、横山恵子から書籍、